

平成25年度当初予算 施策 取組概要

**222 地域に開かれた学校づくり**

(主担当部局：教育委員会)

22201 地域とともにある学校づくりの推進 (教育委員会)

22202 地域で支える教育活動の推進 (教育委員会)

**県民の皆さんとめざす姿**

子どもたちの学びと育ちを支えるため、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりが進み、学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む社会が形成されています。

**平成27年度末での到達目標**

それぞれの地域において、開かれた学校づくりの取組が進められ、家庭や地域と連携した学校運営や教育活動が展開されています。

県民指標				
目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
学校関係者評価やコミュニティ・スクールなどに取り組んでいる学校の割合	—	93.0%	95.0%	100%
	90.0%	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 学校関係者評価やコミュニティ・スクールなど、保護者や住民等が学校運営や教育活動へ参画する仕組みを取り入れている学校の割合				

活動指標					
基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
22201 地域とともにある学校づくりの推進	学校関係者評価により学校運営や教育活動への保護者や住民等の参画を進めている県立学校の割合	40.0%	—	70.0%	100%
22202 地域で支える教育活動の推進	教材「三重の文化」を活用した中学校の割合	80.0%	—	85.0%	100%

**進捗状況（現状と課題）**

- それぞれの地域で開かれた学校づくりの取組が進むよう、各市町教育委員会を訪問し、コミュニティ・スクール等開かれた学校づくりの推進に向けた具体的な情報交換を進めており、今後、地域別の担当者会議や開かれた学校づくりの実務経験者の派遣等による支援を進めていきます。学校関係者評価も含め、開かれた学校づくりが広がるよう働きかけていく必要があります。

- ・ 保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画を進めるため、全県立学校で学校関係者評価の義務化を行うとともに、県立学校 25 校に対して、学校評価に基づく改善活動への支援を行っています。今後は学校関係者評価が有効に機能する運営方法の確立や、具体的な成果につなげるための支援が必要となります。
- ・ 学校関係者評価の理解浸透を図るため、学校関係者評価委員や教職員を対象とした学校関係者評価研修会を県内 4 箇所で開催しました。今後も引き続き、学校関係者評価が効果的に実施されるよう研修を充実させる必要があります。
- ・ 地域人材を活用した学習支援を進めるため、大学生や教員 O B 等地域住民の知識・技能を活用する学習支援（授業における学習支援、放課後等の学習指導）の取組に対して支援（7 市町）を行いました。これにより、地域人材を活用した学習支援活動の実施校が 149 校に倍増するなど取組が広がってきています。今後、学習支援活動が全ての学校で実施されるよう働きかけていく必要があります。
- ・ 三重の良さを実感できる教材を活用した郷土教育を進めるため、各市町教育委員会に「ふるさと三重かるた（仮称）」の作成に向けての協力を要請し、県内の公立小中学生から広く読み句を公募しました。今後、選定会議や制作会議において、郷土に対する興味・関心を高め、言語活動の充実に効果的なかるたの作成を進めます。また、教材「三重の文化」の授業実践の交流等をおおして、その活用と成果の普及を図る必要があります。

## 平成 25 年度の取組方向

### 教育委員会

- ・ 市町教育委員会と連携して、地域の状況に応じた開かれた学校づくりを促進するため、県内 4 地域に設置する「開かれた学校づくり推進協議会」における協議の充実を図ります。また、指定した市町全体で地域とともにある学校づくりを推進する実践的研究をモデル的に実施し、研究の成果を他の市町に普及・啓発します。
- ・ 学校関係者評価の質を高めるため、引き続き学校関係者評価研修会を実施します。また各学校で年度末に行われる学校評価（関係者評価を含む）に基づく改善活動が組織的、継続的に行われるよう、引き続き支援を行います。
- ・ 市町が実施する地域による学力向上の取組を支援するため、学校と地域住民等をつなぐコーディネーターの育成等を支援します。また、取組成果等の報告会を開催するなど、事業成果の共有と取組の普及を図り、平成 27 年度には全ての市町で地域人材を活用した学習支援活動が実施・定着されるよう支援を行います。
- ・ 教材「三重の文化」を用いた郷土教育の一層の充実を図るため、「ふるさと三重かるた（仮称）」を作成するとともに、かるたの活用・普及に取り組みます。

## 主な事業

### 教育委員会

- 地域と協働する学校運営支援事業【基本事業名：22201 地域とともにある学校づくりの推進】  
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費)  
当初予算額：(24) 16,912千円 → (25) 11,690千円  
事業概要：公立学校において、保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画を進めるため、「開かれた学校づくり推進協議会」における協議の充実を図るとともに、サポーターの研修会等への派遣などを通じて、各市町におけるコミュニティ・スクール等の導入を支援します。  
また、県立学校における学校関係者評価の義務化に伴い、学校関係者評価の質を高めるため、学校関係者評価委員等を対象とした研修会の実施や評価結果に基づく改善活動への支援を行います。
- 地域による学力向上支援事業【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】  
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)  
当初予算額：(24) 11,626千円 → (25) 13,915千円  
事業概要：大学生や教員経験者等地域住民の知識・技能を活用して、子どもの学力向上を図る市町の取組を支援し、地域住民等による学校を支援する体制づくりを推進します。(10市町での実施を予定)  
また、学校と地域住民等をつなぐコーディネーター等への研修、事業の成果の共有と普及を図るための成果報告会等を実施します。
- 「ふるさと三重」郷土教育推進事業【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】  
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)  
当初予算額：(24) 6,038千円 → (25) 6,283千円  
事業概要：教材「三重の文化」を用いた郷土教育の一層の充実を図るため、「ふるさと三重かるた(仮称)」を作成し、その活用・普及を通して、子どもたちの郷土を愛する心を育むとともに、自信と誇りを持って三重の良さを発信できる人づくりを進めます。